

第13期第1回東京都福祉のまちづくり推進協議会 福祉保健局長挨拶
令和3年2月5日

日頃より、東京都における福祉のまちづくり施策に対し御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回の第13期第1回東京都福祉のまちづくり推進協議会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面形式にて開催させていただくこととなりました。

東京都では、現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、緊急事態宣言が発令されております。委員の皆様におかれましては、各分野において、感染防止対策を講じつつ、日々工夫を凝らしながら御活躍されていることと存じます。皆様の御尽力に心より感謝申し上げます。

さて、前期の第12期東京都福祉のまちづくり推進協議会におきましては、審議テーマを「東京2020大会を契機としたバリアフリー化の推進に向けて」として、東京2020大会を契機とした取組状況を踏まえ、現状と課題を整理し、更なるバリアフリー化の推進に向けた福祉のまちづくりの方向性について御議論いただきました。

また、昨年10月には、第12期の審議の集大成として、知事への意見具申をいただきました。都としては、意見具申を踏まえ、より一層取組を強化するとともに、ホームページにて公表し、各道府県や都内区市町村の福祉のまちづくり所管部署等へ送付するなど、広く周知を図りました。

第13期におきましては、意見具申でも指摘されております、コロナ禍の新しい生活様式において浮き彫りとなった課題を踏まえ、長期的な視点で、ハード・ソフト一体となったバリアフリーを更に推進するための検討をしていく必要があると考えます。

そこで、今期の審議テーマを「10年後の東京を見据えた新しい日常におけるバリアフリーの推進について」と設定し、ユニバーサルデザインの先進都市東京の実現に向けて、新しい日常においてバリアフリーを推進するための検討を進めていくことについてお諮りしたいと考えております。

委員の皆様には、様々な視点から御意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。